



2022年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 佐島電機株式会社
 コード番号 7420 URL https://www.satori.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 佐島 浩之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 諏訪原 浩二 (TEL) 03-3451-1040
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 2022年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年5月期第2四半期の連結業績(2021年6月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第2四半期	62,677	21.2	1,048	270.6	1,200	281.4	892	—
2021年5月期第2四半期	51,701	△9.2	282	△33.2	314	△23.9	△153	—

(注) 包括利益 2022年5月期第2四半期 1,044百万円(—%) 2021年5月期第2四半期 82百万円(△90.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第2四半期	54.22	—
2021年5月期第2四半期	△9.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年5月期第2四半期	68,086	31,051	45.3
2021年5月期	63,216	30,372	47.8

(参考) 自己資本 2022年5月期第2四半期 30,825百万円 2021年5月期 30,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期	—	12.00	—	18.00	30.00
2022年5月期	—	18.00			
2022年5月期(予想)			—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日~2022年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,000	17.2	1,800	100.1	2,000	75.5	1,500	188.2	91.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年5月期2Q	17,946,826株	2021年5月期	17,946,826株
2022年5月期2Q	1,492,118株	2021年5月期	1,491,810株
2022年5月期2Q	16,454,871株	2021年5月期2Q	16,455,025株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、機関投資家およびアナリスト向け決算説明をオンライン動画ライブ配信形式で開催する予定です。なお、決算説明内容(動画)は当日使用する決算説明資料とともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
(1) 製品及びサービスごとの情報	11
(2) 地域別売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策により一部で回復の動きが見られるものの、半導体製品等の供給制約や原材料価格の高騰、感染症再拡大が懸念される状況にあります。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったものの、主に半導体・電子部品市場の拡大により626億77百万円（前年同期比21.2%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は、売上増に伴う人件費増や荷造運送費の増加、販売促進費の増加等による販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上増や粗利率改善に伴う売上総利益の増加により10億48百万円（前年同期比270.6%増）、経常利益は商流移管による受取補償金の計上等により12億円（前年同期比281.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に計上した事業構造改善費用がなくなったことにより8億92百万円（前年同期は1億53百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①デバイスソリューション事業

事務機器用半導体の販売減はあったものの、リモートワーク需要の拡大によるノートPC用電子部品の販売増や調達マネジメントサービスの拡大により、売上高は518億48百万円（前年同期比21.6%増）、セグメント利益は12億80百万円（前年同期比167.6%増）となりました。

②システムソリューション事業

半導体製造装置用制御機器等の販売増など産業インフラ向けの拡大により売上高は108億28百万円（前年同期比19.4%増）、セグメント損失は先行投資継続により2億30百万円（前年同期は1億94百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、680億86百万円（前連結会計年度末632億16百万円）となり、48億69百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少（31億94百万円）、受取手形及び売掛金の増加（42億47百万円）、商品及び製品の増加（42億58百万円）によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、370億35百万円（前連結会計年度末328億44百万円）となり、41億90百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加（34億75百万円）、長期借入金の増加（17億円）によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、310億51百万円（前連結会計年度末303億72百万円）となり、6億79百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加（5億26百万円）によるものであります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の47.8%から45.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて31億94百万円減少し、62億9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は30億77百万円（前年同期は38億20百万円の獲得）となりました。

これは主に仕入債務の増加による資金の増加はあったものの、売上債権の増加、棚卸資産の増加により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億22百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

これは主に固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は54百万円（前年同期比93.4%減）となりました。

これは主に有利子負債の増加による資金の増加はあったものの、配当金の支払いにより資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は、上期に引き続きリモートワーク需要拡大による電子部品の販売や産業インフラ向け事業の拡大により、前回（2021年10月14日）公表の予想を上回る見込みとなりました。利益面につきましても、売上増加に伴う荷造運送費や販売促進費等の販売費及び一般管理費が増加するものの、売上総利益の増加により前回予想を上回る見込みとなりました。

詳細につきましては、本日公表いたしました、「2022年5月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,403	6,209
受取手形及び売掛金	28,969	33,216
商品及び製品	10,098	14,357
仕掛品	200	351
原材料及び貯蔵品	1,207	1,059
その他	2,499	2,318
貸倒引当金	△1	△7
流動資産合計	52,378	57,505
固定資産		
有形固定資産	4,155	4,142
無形固定資産	1,835	1,748
投資その他の資産		
その他	5,548	5,223
貸倒引当金	△700	△533
投資その他の資産合計	4,847	4,689
固定資産合計	10,838	10,580
資産合計	63,216	68,086
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,517	20,993
短期借入金	6,393	7,065
1年内返済予定の長期借入金	900	—
1年内償還予定の社債	1,000	—
未払法人税等	222	172
その他	3,335	3,709
流動負債合計	29,369	31,941
固定負債		
長期借入金	1,000	2,700
退職給付に係る負債	1,353	1,371
その他	1,121	1,023
固定負債合計	3,475	5,094
負債合計	32,844	37,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,611	2,611
資本剰余金	3,615	3,558
利益剰余金	23,947	24,473
自己株式	△1,724	△1,725
株主資本合計	28,449	28,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,758	1,670
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	58	58
為替換算調整勘定	△41	177
その他の包括利益累計額合計	1,775	1,907
非支配株主持分	147	225
純資産合計	30,372	31,051
負債純資産合計	63,216	68,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)
売上高	51,701	62,677
売上原価	47,490	57,224
売上総利益	4,210	5,452
販売費及び一般管理費	3,927	4,403
営業利益	282	1,048
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	35	36
受取補償金	29	214
その他	69	54
営業外収益合計	134	307
営業外費用		
支払利息	38	40
為替差損	43	90
その他	21	24
営業外費用合計	103	155
経常利益	314	1,200
特別損失		
固定資産除却損	—	4
事業構造改善費用	202	—
その他	5	—
特別損失合計	207	4
税金等調整前四半期純利益	106	1,195
法人税、住民税及び事業税	100	147
法人税等調整額	159	134
法人税等合計	259	281
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△152	913
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	21
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△153	892

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△152	913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	402	△88
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△167	219
その他の包括利益合計	235	131
四半期包括利益	82	1,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81	1,024
非支配株主に係る四半期包括利益	1	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	106	1,195
減価償却費	237	287
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	66
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△58	17
受取利息及び受取配当金	△36	△38
支払利息	38	40
売上債権の増減額 (△は増加)	1,329	△3,952
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,364	△4,104
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,237	3,278
未払消費税等の増減額 (△は減少)	484	△215
固定資産除却損	—	4
事業構造改善費用	202	—
その他	△337	157
小計	4,088	△3,262
利息及び配当金の受取額	36	38
利息の支払額	△38	△40
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△72	186
事業構造改善費用の支払額	△193	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,820	△3,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△72	△21
投資有価証券の売却による収入	—	12
有形固定資産の取得による支出	△32	△84
無形固定資産の取得による支出	△35	△40
その他	24	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△447	536
長期借入れによる収入	—	1,700
長期借入金の返済による支出	—	△900
社債の償還による支出	—	△1,000
配当金の支払額	△327	△295
その他	△49	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△825	△54
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,853	△3,194
現金及び現金同等物の期首残高	7,727	9,403
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,580	6,209

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、商品の販売について、従来は主に出荷時に収益を認識しておりましたが、着荷時に収益を認識する方法に変更しております。また、代理人として行われる取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億22百万円増加、売上原価は1億59百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ62百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は69百万円減少しております。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ソリューション 事業	システム ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,629	9,071	51,701	—	51,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	146	96	242	△242	—
計	42,775	9,167	51,943	△242	51,701
セグメント利益又は損失(△)	478	△194	283	△0	282

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ソリューション 事業	システム ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	51,848	10,828	62,677	—	62,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	111	81	192	△192	—
計	51,959	10,910	62,869	△192	62,677
セグメント利益又は損失(△)	1,280	△230	1,049	△0	1,048

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(出資に関する契約)

当社は、2022年1月14日開催の取締役会において、SM Electronic Technologies Pvt. Ltdへの出資を行うことを決議し、株式譲渡及び株式割当契約を締結いたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました、「SM Electronic Technologies Pvt. Ltdへの出資に関するお知らせ」をご参照ください。

3. その他

(1) 製品及びサービスごとの情報

前第2四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)

(単位:百万円)

	半導体	一般電子部品	電子機器	製品	合計
外部顧客への売上高	17,082	22,902	9,662	2,054	51,701

当第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

(単位:百万円)

	半導体	一般電子部品	電子機器	製品	合計
外部顧客への売上高	22,413	26,654	10,489	3,120	62,677

(2) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)

(単位:百万円)

日本	海外					合計
	中国	台湾	その他アジア	その他	計	
24,264	16,505	920	7,482	2,528	27,436	51,701

(注) 1. 売上高は製品の実際の仕向け地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「中国」の区分は、香港を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

(単位:百万円)

日本	海外					合計
	中国	台湾	その他アジア	その他	計	
28,742	21,651	1,869	7,385	3,028	33,934	62,677

(注) 1. 売上高は製品の実際の仕向け地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「中国」の区分は、香港を含んでおります。